

## 会費値上げのお知らせ

公益社団法人石油学会  
会 長 武 藤 潤

公益社団法人石油学会では、「石油、天然ガスおよび石油化学工業に関する科学および技術の進歩普及を図り、産業の発達と文化の興隆に資することを目的」として、会誌・論文誌の発行、部会活動、認証活動、教育・講習会の開催、受託事業などの活動を実施してまいりました。これらの活動は皆さまからの会費に支えられております。

会費につきましては、1987年度以降30年間据え置き、その間、消費税の導入・税率の引き上げ、諸経費の増加に対して経費節減などの各種施策により対応してまいりました。

今後も経費削減を継続してまいります。会員の皆さまとの各種事業、活動のさらなる活性化、各種サービスの充実のためにも、会員の皆さまに下記のとおり2017年度より会費の値上げをお願いせざるをえないとの結論に達しました。

また、維持会員につきましては、新たに特級を新設することとなりました。

会員の皆さまにおかれましては、以上の諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 会費改定案

|      | 現行（年額）   | 改定案（年額）    |
|------|----------|------------|
| 普通会員 | 8,400円   | 9,600円     |
| 学生会員 | 4,200円   | 4,800円     |
| 維持会員 |          | 1,380,000円 |
| 特級   |          |            |
| 1級   | 800,000円 | 920,000円   |
| 2級   | 600,000円 | 690,000円   |
| 3級   | 320,000円 | 370,000円   |
| 4級   | 220,000円 | 250,000円   |
| 5級   | 80,000円  | 92,000円    |
| 公共会員 | 25,000円  | 29,000円    |

注) 本改定内容は、2017年5月開催の通常総会で決議いただいた後、実施に移すこととなります。

## 会費値上げの背景と今後に向けた取り組み

石油学会の財務状況は、石油業界の再編および業界従業員数減少に伴う会費収入が減少する一方、消費税率の引き上げ等の諸経費の増加により、年々厳しいものとなっております。

石油学会では、1987年度以降30年間会費を据え置いてまいりましたが、会員の皆さまに2017年度より会費の値上げをお願いせざるをえないとの結論に達しました。

石油は2030年においても重要なエネルギー源であり、石油・石油化学産業の安全、安定操業に関わる技術、石油の有効利用に関する技術開発は推進しなければなりません。

そして、石油学会の役割、すなわち会員の皆さまが本会へ求める活動、サービスは減退するものではないと考えております。

本会ではこれまで、徹底した経費節減を行ってまいりました。主なものとして、事務所移転による事務所賃貸料の削減、事務局人員削減による人件費の抑制、講演会・講習会会場の変更による施設利用費削減、電子化による会議費の削減、会誌の印刷費・配送料の見直し、事務局諸経費の圧縮を実施しております。

そして、会員の皆さまへ利便性の向上として、電子情報化に合わせたホームページ開設、メールマガジンの発信、会誌のアーカイブ化・公開などに費用をあててまいりました。

今後も、会員サービスの充実に向け、学生会員の皆さまには、年会・大会での発表の機会を提供するとともに、石油業界への興味を持っていただける教育講習や企業との交流の場を提供してまいります。大学研究者の皆さまへは、研究への支援を進めてまいります。

普通会员の皆さま、維持会員企業の技術者の皆さまには、会誌、講習会などご自身のレベルアップにつながる機会の提供を進めてまいります。

維持会員企業の皆さまには、石油・石油化学産業の発展、安全安定操業につながる設備や品質に関する規格の整備、設備維持管理士などの資格制度の充実、技術者教育の充実に加え、将来の石油・石油化学産業を支える人材育成を進めてまいります。

会員の皆さまにおかれましては、以上の諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 論文誌のオンライン早期公開による 冊子体の配布廃止について

公益社団法人石油学会  
会 長 武 藤 潤

本学会の論文誌『Journal of the Japan Petroleum Institute』は、1958年の創刊以来、数多くの学術論文を掲載し、石油、天然ガスおよび石油化学工業に関する科学および技術の発展・普及・啓発に寄与してまいりました。

論文誌のあり方につき学会内で検討しました結果、国際的な情報発信およびそのスピード、会員のみならず研究者、技術者の利便性、学会経費削減の観点より、本学会の論文は、独立行政法人科学技術振興機構（Japan Science and Technology Agency：JST）が運営する科学技術情報発信・流通システム「J-STAGE」にて早期（現行より約2カ月早く）かつ広く一般に公開することとしました。これに伴い、論文誌の冊子体の刊行は一般販売を除き2017年度より廃止することを、2016年10月27日の第419回理事会において決定いたしました。

本決定により、普通会員、学生会員の皆さまへの論文誌の冊子体配布につきましては廃止とさせていただきます。2017年度より購読料の徴収を廃止いたします。皆さまには長年にわたり論文誌をご購読いただき感謝いたします。

普通会員、学生会員の皆さまには、引き続き刊行・配布いたします一般誌『ペトロテック』誌上で「J-STAGE」に公開される論文のタイトル、要旨を掲載することで、皆さまの利便性を損なうことがないようにいたします。

今後も、より一層、会誌・論文誌の内容充実と発信力の強化を目指してまいります。  
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。